

各教科におけるキャリア教育

令和7年3月12日 愛知県教育委員会義務教育課

各学校では、特別活動や総合的な学習の時間等を活用して、キャリア教育が行われています。一方で、職場体験活動や講話など以外のキャリア教育については、「時間的な余裕がない」「具体的な取組がイメージできない」等の教員の声が聞かれます。

そこで、毎日の教科の授業の中にキャリア教育の視点を取り入れた活動を紹介します。今ある授業をキャリア教育の視点で見直し、少し工夫することで、「日常的にキャリア教育でつきたい力」を育むことができます。ぜひ参考にしてください。

☆ キャリア教育でつきたい力

(平成23年1月31日 中央教育審議会答申)

基礎的・汎用的能力	例
① 人間関係形成・社会形成能力	他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップなど
② 自己理解・自己管理能力	自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動など
③ 課題対応能力	情報の理解・選択・処理、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善など
④ キャリアプランニング能力	学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善など

☆ 各教科でキャリア教育の視点を取り入れた活動例

(碧南市の学校の実践を参考に作成したもの)

教科・その他	活 動	キャリア教育の視点（キャリア教育でつきたい力）
国語	<話し合い活動> ・自分の考えや自分の思いを言葉にすること	・将来、仕事をする際に必要になってくるプレゼンや商品説明等に役立てることができる。(①)
社会	<資料の読み取り> ・資料を読み解くときに、多面的、多角的な考察をすること	・一緒に働く人の思いを想像し、協働することができる。(①) ・偏った思考にとどまらず、総合的に判断する力を付ける。(③) ・自分自身のキャリア、進路決定の際に、多角的な視点で選択できる。(④)
算数・数学	<数学の活用> ・統計や確率などの問題に取り組む際など、社会や生活場面で数学的な考え方をを使うこと	・データ分析や暗号資産で使用されている理論や、建築・ものづくりに必要な図形などの学習に興味をもったり、使ってみたりできる。(③) ・今、学んでいることが社会や生活場面で多く使われていることを理解できる。(④)
理科	<科学技術の探究> ・単元の内容にかかわる研究についての話題などに触れる際に、科学者や技術者の日常の仕事、研究内容について学ぶこと	・科学や技術の不思議なことに興味をもち、仮説を立てたり、検証をするなど、課題を発見したり、追究したりすることができる。(③) ・身近にあるものの仕組みや商品と科学技術との関連を考えたり、自然現象が私たちの生活にどのような影響を与えているかなどを理解したりし、生活とのつながりについて考えることができる。(④)
英語	<習慣化した活用> ・日常的な会話など、授業の際に英語を使ったトークをすること	・日常生活や進学・就職の際に、日本語以外の言語を主とする人と関わったり、海外留学・海外赴任をしたりすることをいとわずチャレンジできる。(②) ・何気なく使っている英語が、役に立つこともあることを考えることができる。(④)

音楽	<音楽に関わる> ・仕事と音楽という教科書のページから、音楽ライブや演劇、ミュージカル、調律師、音楽教室の先生、保育士、音楽療法、著作権に関わる仕事など、音楽に関わる仕事に興味をもつこと	・音楽に関わる仕事には、表面に現れる仕事や、裏方で行う仕事など様々あることに気付くことができる。(④) ・音楽は、様々な場面で活用され、人生を豊かにすることに気付くことができる。(④)
美術	<美術に関わる> ・教科書等の作家のプロフィールなどから、その作家の人生を追体験すること ・画材や道具について、人との関わりの中で理解すること	・美術作品を作成する上で、それに関わる様々な感性と人生が潜んでいることを理解できる。(③) ・美術作品を作成する上で必要な道具についても多くの人が関わっていることに気付くことができる。(④)
保健 体育	<スポーツ関連> ・スポーツには、「行う、見る、支える、知る」などの観点があることを理解すること ・チームで行うスポーツには、他者との関係が大切となること	・スポーツの運営や広報などもスポーツに関わる仕事であることに気づくことができる。(④) ・道具を使用する際には安全指導の観点から、使用する道具にどのような安全の配慮がなされているか、つくる人の思いや工夫などを競技ごとに考えることができる。(④)
技術 家庭科	<生活の中の関連> ・家庭科では、実生活に関わる服飾や調理等に関わるのが、どのような仕事につながるのかなどに興味をもつこと。 ・技術科では、スマホやパソコンに関わる情報処理について、その技術に関わる仕事に興味をもつこと。	・家庭科では、生活に係る身近なことにも、様々な仕事があることに気づくことができ、技術科では、身近な製品を支える様々な仕事があると感じ取ることができる。(④) ・家庭生活を営む上で、他者との関わりが多くあることに気づくことができる。(①) ・身近な食品や製品などをつくるには、技術を身に付ける必要があることに気づくことができる。(②)

☆ 参考資料

<教科におけるキャリア教育の例>

(令和6年5月文部科学省「キャリア教育・進路指導について」資料から)

教科	学習活動等
国語	相手の反応を踏まえながら、分かりやすく発表する。
社会	日常生活と経済との関係を考える。
数学	データを活用して問題解決をする。
理科	日常生活や将来とのかかわりの中で理科を学ぶ意義を実感する。
音楽	ともに認め合い、学びながら自分たちの合唱をつくる。
美術	心の世界を絵や彫刻で表現し、なりたい自分のイメージを膨らませる。
技術	技術の生かし方や、技術との関わりを考える。
家庭	家庭や社会の一員として、生活の自立を目指す態度を育む。
保健体育	伝統的な考え方や礼儀作法を理解する。

<ポータルサイト「ひと育ナビ・あいち」へのキャリア教育実践掲載>

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校のキャリア教育に関する企業等との連携を図った実践を掲載しています。夢はぐくみサポーターでは、職場体験等へ協力してくださる企業等も掲載されていますので、ぜひ、御活用ください。



愛知県の人材育成情報を一元化したポータルサイト | 愛知県産業人材育成支援センター
ひと育ナビ・あいち (<https://aichi-hito.jp/>)